

退任役員・支部長ご挨拶



会長
宮本 律子

栃木県看護連盟会員の皆様、看護連盟の活動にご理解・ご支援・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、私は2024年6月末日を持ちまして、会長職を任期満了にて退任することとなりました。2015年から副会長、2018年から3年2期（6年）の任期を無事終了することができずとも、会員の皆様、看護管理者の皆様、また看護協会会長、役員の皆様のご協力のお陰と深謝いたします。特に連盟役員・支部長、連盟事務所の方々には、大変お世話になりました。学びの多い9年間となりました。

会長任期中には大雨災害やコロナ禍など、今までに経験したことのない災害がありました。そのような中、感染管理認定看護師について新聞への報道を依頼し、一般の方々が認知するようになったことは、看護の力を可視化できた一つと考えています。しかし、栃木県は国立や公的な看護大学のない唯一の県であり、看護の質向上、また、女性の県外流出を防ぐためにも、県立の看護学校の4年制化への移行を看護協会とともに要望してきましたが、道半ばとなってしまいました。今後も要望を継続してくれることと思います。

2回の参議院選挙を経験し、石田まさひろ議員、友納りお議員のお二人が現在国政の場で活躍されていることは、うれしい限りです。何故、国政の場に看護職の国会議員が必要か？法律・制度の制定・改訂をできるのは、国会議員であり、我々の状況をより把握しているのが看護職の国会議員であるということをご理解していただきたいと思います。

会員の皆様のご健勝・ご活躍、栃木県看護連盟・看護協会の益々の発展を祈念し、退任のあいさつとさせていただきます。

2021年から3年間幹事（財政）として活動してきました。看護連盟役員・会員の皆様にはご指導・ご協力をいただき感謝申し上げます。コロナ禍で思うように活動ができなかった時期でありましたが、連盟と協会の協働により看護職の大きな力を感じることができました。コロナはピンチをチャンスに変え、看護職の価値を高め、

看護職代表国会議員の方々のご尽力により約30年ぶりに基本方針の改定や処遇改善、医療職三表の改正等も行われました。看護職の就労環境をより良くするには、看護連盟の活動や意義を理解し国政に看護職の代表を送り続けることが重要であると再認識しました。これからも、会員として活動を続けていきたいと思っております。これまで大変お世話になり、ありがとうございました。



幹事
平澤 靖子

済生会宇都宮支部
支部長 落合 新二

2022年度より済生会宇都宮支部の支部長を務めさせていただきました。

就任した年に参議院選挙があり、支部においては、看護の代表を国政に送り出すため、活動を強化し、研修会等を通して看護連盟の活動を再認識でき、会員とともに同じ目標に向かい行動する機会となりました。2年間と短い期間ではありましたが、看護連盟役員・支部長・会員の皆様に、ご指導・ご協力いただきましたこと深く感謝申し上げます。



副会長
大海 佳子

2年間という短い期間でしたが、副会長として栃木県看護連盟に携われたことを光栄に思います。役員や支部長、青年部の皆様、会員の皆様のご理解とご支援に感謝申し上げます。

政治や政策というと遠い存在のように感じますが、人員増や給与増という私たちが実現したい問題への取り組みだと、とても身近なことに感じます。身近でありながら、人員は診療報酬、給与は医療職俸給表によって定められており、遠いと感じている制度を変えなければ変わりません。

多くの看護職員が、自分の職場環境改善のための自分たちの活動として認識し、連盟と共に、活発に、そして充実した活動へと発展できることを祈念しております。

2022年から監事を務めさせていただきました。この2年間、不慣れな点が多くご迷惑をお掛けしたと思いますが、看護連盟役員・会員の皆様には温かく見守っていただき、楽しく連盟の活動を続けることができました。感謝申し上げます。これからも少しでも皆様のお役に立てるように頑張りますので、宜しくお願い申し上げます。



監事
高橋 久美

2017年から塩谷・塩原支部長に就任し、会長はじめ、連盟役員・会員の皆様にご指導・ご協力をいただきながら、活動させていただきました。就任中、「石田・友納選挙」「栃木県看護連盟創設60周年記念式典」等があり、様々な関わりができ、貴重な経験ができました。又、支部長を務めさせていただき、看護連盟の役割、重要性を改めて認識しました。これからも会員として、看護連盟活動の意義を伝えながら、連盟活動に参加してまいります。大変お世話になり、ありがとうございました。



塩谷・塩原支部
支部長 室井 幸江

宮本会長はじめ役員、会員の皆様のご指導を頂きながら国際医療福祉大学支部の支部長として5年間活動ができましたことを感謝申し上げます。看護師になり看護連盟に入会はして初めて戸惑うことも多々ありました。連盟活動を通して政治に参加すること看護職が一丸となることの大切さを学ぶことができました。今後は一会員として応援していきたいと思っております。ありがとうございました。



国際医療福祉大学支部
支部長 大草 由美子

宮本会長はじめ役員、会員の皆様のご指導を頂きながら国際医療福祉大学支部の支部長として5年間活動ができましたことを感謝申し上げます。看護師になり看護連盟に入会はして初めて戸惑うことも多々ありました。連盟活動を通して政治に参加すること看護職が一丸となることの大切さを学ぶことができました。今後は一会員として応援していきたいと思っております。ありがとうございました。



栃木支部
支部長 **矢板 沙来美**

2021年から3年間、栃木支部の支部長を務めさせて頂きました。連盟活動の理解が不足するなかで、2022年の参議院選挙をむかえ、大変ながらも選挙活動が結果につながり走り甲斐を感じることができました。看護連盟役員・会員の皆様のご指導とご協力に心から感謝いたします。

これからも一会員として協力していきたいと思っております。ありがとうございました。



大田原支部
支部長 **加藤 久賀**

私は平成31年に大田原支部の支部長に就任しました。看護連盟には就職時から入会していましたが看護連盟の役割など理解していませんでした。支部長となり私達の代表である議員の方々の政策などを聞き、改めて看護連盟活動の必要性を実感しました。今後は更に若い世代の方々に看護連盟活動を知ってもらい協力頂けるよう声かけしていきたいと思っております。ありがとうございました。

新任役員・支部長ご挨拶



会長
小倉 佳子

栃木県看護連盟通常総会にて承認をいただき、会長に就任いたしました。看護職の環境改善につなげるために「届けよう看護の声を！私たちの未来へ」のスローガンのもと役員や会員の皆様と力を合わせ役割を果たしてまいります。現場の声を国政に届けるためにも、次年度の参議院選挙におきましては皆様のご支援を宜しくお願いいたします。



副会長
福田 順子

副会長に就任いたしました自治医科大学附属病院の福田です。栃木県看護連盟だよりは、イベントの様子が良くわかり、また役員の方々の御顔写真付きの記事も個性豊かで、いつも興味深く拝読しておりました。まさか私が書くなんで！という心境です。看護連盟の地道で継続的な活動で、勝ち取ってきた数々の「改善」に深く敬服致します。大役を仰せつかり甚だ恐縮ですが、看護職の明るい未来に向けて役割を果たしてまいります。



幹事
高橋 久美

今年度より幹事を務めさせていただくことになりました。これまでの看護連盟の活動を通じ、看護の代表を国政に送り出すことの重要性を学びました。また、近年は求められる看護の役割も多様化しており、厳しい職場環境をどの様に改善してほしいのかを具体的に声にすることが大切であると感じています。まだまだ学び途中ですが、現場の声を国政に届けられるように、これからも連盟役員・会員の皆様ご指導ご支援のもと頑張ってまいりますので、宜しくお願い申し上げます。



監事
岡本 順子

この度、監事を務めさせていただくことになりました。看護師の処遇改善には、私たちの代表を国政に送り出し、現場で働く看護師の声を届けることが政策に繋がります。

そのためには看護連盟活動への理解と会員各々の活動の継続が重要であると考えます。

看護職の就労環境をよりよいものとするため、皆様のご指導の下、役割が果たせるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



済生会宇都宮支部
支部長 **上野典子**

今年度より済生会宇都宮支部の支部長を務めさせていただくことになりました。

一会員として研修に参加し学んでいた立場から、連盟活動を実践する側となり責任の重大さを痛感しております。

看護連盟の業績や役割・活動の意義を伝え、看護職の労働環境や待遇の改善には政治の力が必要であることを知って興味を持ってもらえるよう活動していきたいと考えております。

皆様にご指導を頂きながら精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。



塩谷・塩原支部
支部長 **磯部由美子**

この度、塩谷・塩原支部の支部長を務めさせていただくことになりました。昨年までは、幹事長という立場で連盟活動に参加してきました。まだまだ看護連盟活動についての知識は十分ではありませんが、会員の皆様と共に協力し働きやすい職場環境となることを目指して、看護職が国政の場で活躍できるよう活動を進めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



栃木支部
支部長 **松浦弘子**

このたび栃木支部の支部長を拝命いたしました、とちぎメディカルセンターとちのき松浦弘子と申します。私が看護師になって30年がたちますが、その間看護はさらに「なくてはならない職業」となっております。今後、ますます看護が魅力的な職業となるためには、看護連盟の活躍が大きな力となります。我々が、そして後進の方々が安心して看護師を続けていけるよう積極的に活動したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



国際医療福祉大学支部
支部長 **藤澤千栄美**

この度、国際医療福祉大学支部の支部長に就任します藤澤千栄美と申します。私が所属する国際医療福祉大学支部は、比較的若い職員が大勢所属しております。若い世代の政治離れは社会問題としても、取り上げられておりますが、看護政策に興味を持つように働きかけていきたいと思っております。今回のコロナ禍で、頑張る看護師の姿が世の中で高い評価を得ました。それに対し今回の診療報酬のベースアップ評価料により賃上げにつながったのではと思っております。しかし、これも看護連盟が応援している議員の方の働きかけで、国会で取り上げられた結果と考えます。今後も未来の看護職のために、若い職員の現場の声を届けることが重要だと考えています。



大田原支部
支部長 **菅野麗美**

今年度より大田原支部支部長を務めさせていただくことになりました。看護連盟大田原支部は、那須赤十字病院に勤務する連盟会員で構成されています。今後支部長として、看護職の現場での声が国政に届くよう、看護連盟の役割や活動内容を会員に理解してもらい、連盟の活動に参加して頂くことを目標に活動をしていきたいと思っております。

『届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ』のスローガンのもと、支部長としての役割を果たせるよう自分自身も学びながら頑張りたいです。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。